



ピカピカの1年生／新山小学校（4月6日）

こんにちは！

由利本荘市議会です

3月定例会

- 議論の中からピックアップ ▶P2
- 平成30年度の主な事業 ▶P4
- 会派代表質問 ▶P6
- ここが聞きたい 一般質問 ▶P8
- 第1回臨時会・議員連盟の設立 ▶P12
- 行政視察の受入状況・お悔やみ ▶P13
- 議会報告会「市民と語る会」 ▶P14
- お知らせします 議会の動き ▶P15
- 愛LOVEゆりほんじょう ▶P16



お兄さんお姉さんも楽しみに待ってたよ！

由利本荘市議会だより
平成30年／2018年5月1日 第52号



本荘東中学校 3年
はたけやま りお
島山 莉緒 さん
(夢沼)



矢島小学校 6年
つちだ えいた
土田 瑛汰 さん
(山寺)



伝統と心の温かさ

私 は4年生の頃から日本舞踊を習いました。カターシなどで開かれるイベントで踊ると、お客さんが「上手になったね」「これからも頑張るね」と、温かい声をかけて下さいます。その笑顔を見ると嬉しくなって、また一生懸命に踊ろうと思いました。

この2月に本荘東中学校の二年生は、三年生の受験合格を祈願して「ごてんまり」を作りました。講師の阿部登志子先生は何度も東中に足を運んで熱心に教えて下さり、「伝統を伝えたい」という思いを強く感じました。

心が温かくて、伝統を大切に、そんな由利本荘市に生まれ育って本当に良かったです。私が市のために今できること、そして将来できることを考えていきたいです。

歴史受けつぐ「矢島町」

ほ くの通っている矢島小学校は、お城の跡に建てられた学校です。高台にあり、矢島の町が一望できます。矢島を治めていたのは、高松から来た生駒のお殿様でした。

秋になると、町のみんなが楽しみにしている「八朔祭り」というお祭りがあります。祭典では、おはやしと共に大きな山車を引っ張りながら町の中を回ります。丁内の子ども達が山車を引っ張りながら、途中で踊りを披露します。

400年以上の歴史がある「八朔祭り」ですが、昨年度の高松訪問で、このお祭りが高松から伝わったものだと知り、驚きました。ほくは、もっと矢島の歴史を深く知り、もっともっと矢島の町を好きになりたいと思います。

まちの声から



本荘地域（下方願寺）
伊藤 昌子 さん

人生の先輩の姿に思う

高齢者の雇用促進が話題となり、賛否両論を聞くことがあります。身近なところでも、多くの高齢者の方が働いています。私の家は農家ですが、手が足りないときなどに、たまに仕事を手伝って下さる方は、古希を過ぎた大ベテランの方々。いてもらわなくては非常に困る、大切な存在であり、ほかの農家や事業所でも働く、引っ張りだこの人材でもあります。「ワークシェアリング（仕事の分け合い）」ならぬ「ワーカージェアリング（働き手の分け合い）」状態です。また、農産物直売所に行けば、見事な野菜や漬物などを作って売る、元気な七十代、八十代の方々に会います。

そんな、高齢になつてなお働く先輩方の姿からは、働くことを苦にする様子も、辛抱して生活している様子も感じられません。しよっちゅう温泉やランチに出掛けたり、ときには日本各地を旅行したり。よく働き、よく遊び、生き生きと人生を楽しむ姿を見ると、こちらも明るい気持ちになり、嬉しくなります。

いろいろな職種で、高齢者が気軽にちよこつと働く場があれば、孤立化を防いだり、健康寿命を延ばしたりすることにもつながるかもしれません。高齢になつてまでも働くよりは、のんびり暮らしたいと思っていた私ですが、働けるうちは少し働いたほうが、楽しく生きられるのかもしれない、そんな気がしている、今日この頃です。

編集後記

3月定例会も熱い議論で終えました。初当選で初質問した議員は12月定例会で3人、今定例会で3人が一般質問。各議員は、当市の活性化や市民の暮らしに直結する課題解決に向け、真摯に訴えました。

質疑内容の一言一句、今後市議会のホームページに掲載されますが、可能な方はぜひ議会傍聴席から緊張感漂う議論を生で。来場できない方は「ゆりほんテレビ」でご覧ください。

市民みんなが市政に参画し、みんなでより良い市を創り上げていきましょう。

(岡見善人)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 伊藤 岩夫
 - 副委員長 吉田 朋子
 - 委員 岡見 善人
 - 正木 修一
 - 今野 英元
 - 佐々木 隆一
 - 佐々木 浩一
 - 小松 一茂

今冬の除雪費

今冬は大雪だったため、除雪費の総額が14億円になりました。

問 今冬のこれまでの除雪費累計は。

答 例年に比べ11～12月の早い時期に降雪が多かったため、県での除雪予算についても過去最高61億円となっている。

本市においても今期4度目の追加補正1億6000万円とし、これまでに14億円の除雪費となっている。



除雪作業の状況

大雪による災害弔慰金

全国的な大雪で2月14日付で福井県、新潟県に災害救助法が適用され弔慰金が支給されることになりました。

問 災害救助法とは。

答 全国で対象となる都道府県が2つ以上あると国内全ての市町村が対象となる。弔慰金は生活の生計維持者に500万円、その他の人は250万円となる。

木造住宅耐震診断支援事業

震災に備え木造住宅の耐震診断費用を補助します。

問 事業の内容と自己負担は。

答 由利本荘市耐震改修促進計画に基づき住宅の耐震化に取り組んだもので、平成30年度からは手続きを簡略化して診断士派遣型となる。診断費用は一律13万円として、自己負担額を1万円に軽減し、残額は国が6万円、県が3万円、市が3万円を補助する事業である。

由利本荘アリーナ備品の購入契約

目的・用途に応じて購入契約を進めています。

問 体育備品の購入契約が、複数回に分かれている理由は。

答 納入まで時間のかかるものを分けて入札していると同時に、リスクを回避している。

トレーニング機器は、指定管理者側で使いやすいものを導入することも想定している。今回は市で導入しようとする機器を使用することとなった。

問 今後も備品の契約に関する議案が提出されるのか。

答 平成30年度も2000万円以上の契約については、審議をお願いする。

問 防災関連の備品などが少ないようだが。

答 非常食や防災用の消耗品などは、危機管理課で順次購入予定である。



アリーナ防災備品

矢島ユースプラトー用途廃止へ

今後は空き公共施設活用促進条例に基づき利活用する団体などを公募します。

問 矢島スポーツ宿泊センター「ユースプラトー」の用途廃止と今後の活用は。

答 (株)鳥海高原ユースパークが管理運営しているユースプラトーの指定管理期間が平成29年度末で満了となる。利用者の減少もあり収益の向上が見込めないことから用途廃止する。

今後は空き公共施設活用促進条例に基づき利活用する団体などを公募する。

3月定例会

議論の中からピックアップ



市税4税 コンビニ納付

平成31年4月よりコンビニエンスストア、ゆうちょ銀行での納付が可能となります。

問 納付できる市税4税とは。

答 個人住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税である。コンビニエンスストアは24時間営業なので市民の利便性向上になり、収納率の上昇が期待される。

ふるさと納税 5588万円余

平成30年2月末時点で、ふるさと納税の寄附金額が前年度より約900万円増となっています。

問 返礼品の人気品目は。

答 はちみつ、フランス鴨、お酒の3品目である。7月の大雨被害復興支援金などを加えると3289件、6123万円となる。返礼品は180品目から198品目に拡充の予定。



返礼品の人気3品目

今後の敬老会のあり方は

高齢者の外出を促進するために敬老会は継続していきます。

問 敬老会開催事業をどのように推し進めるのか。

答 市としては、外出促進に向けての継続事業とすべきと考えている。今年度からは各地域の敬老会に参加された方に記念品を渡し、参加されなかった方には、市からのメッセージの入った名簿を送ることとする。

地域医療 今後の方向性は

国と地方が同じ方向を向き、より強力に医師不足の解消を目指す必要があります。

問 鳥海、直根、笹子の3診療所などの今後の運営のあり方と医師不足対策は。

答 高齢の医師が多い中、若年齢の医師確保と診療所のあり方を含めた市全体の地域医療の方向性などを検討するため、「由利本荘市地域医療検討委員会」が設置された。

今後は、医師、地域まちづくり協議会会長、保健所長、市担当部長などを含む12人の委員で考えていく。



鳥海地域の3診療所

農地利用最適化交付金制度

国は、委員の活動実績と成果実績に応じた交付金制度を創設しました。

問 農業委員などへの実績給の支給とは。

答 担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消を指標とした委員の活動実績に応じて交付されるもので、現在の月額報酬に上乗せして実績給が支給される。



農地パトロールの状況